

千葉市感染症発生動向調査情報

2018年 第50週 (12/10-12/16) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		50週	49週	48週	47週
上段: 患者数 下段: 定点当たりの患者数	小児科	18	18	18	18
	眼科	5	5	5	5
	インフルエンザ*	28	28	28	28
	基幹定点	1	1	1	1

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感 染 症 名	千		葉		市		千葉県
		注意報	12/10-12/16	12/3-12/9	11/26-12/2	11/19-11/25	12/3-12/9	
			50週	49週	48週	47週	49週	
小児科	RSウイルス感染症		2 0.11	0 0.00	0 0.00	2 0.11	33 0.24	
	咽頭結膜熱		2 0.11	2 0.11	0 0.00	1 0.06	57 0.42	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	52 2.89	53 2.94	53 2.94	33 1.83	456 3.38	
	感染性胃腸炎	○	204 11.33	171 9.50	136 7.56	106 5.89	1,054 7.81	
	水痘		10 0.56	9 0.50	4 0.22	6 0.33	70 0.52	
	手足口病		6 0.33	5 0.28	7 0.39	12 0.67	98 0.73	
	伝染性紅斑	↓	14 0.78	23 1.28	24 1.33	12 0.67	164 1.21	
	突発性発しん		4 0.22	6 0.33	5 0.28	8 0.44	39 0.29	
	ヘルパンギーナ		1 0.06	1 0.06	0 0.00	0 0.00	11 0.08	
	流行性耳下腺炎		4 0.22	1 0.06	1 0.06	1 0.06	13 0.10	
	インフル	○	152 5.43	50 1.79	7 0.25	0 0.00	522 2.43	
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
	流行性角結膜炎		0 0.00	2 0.40	3 0.60	1 0.20	19 0.54	
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	1 1.00	1 1.00	0 0.00	
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(16件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	80歳代	病原体の分離・同定等	百日咳	男性	10歳代	病原体遺伝子の検出
結核	女性	20歳代	IGRA検査	百日咳	男性	40歳代	抗体の検出
結核	女性	80歳代	IGRA検査	百日咳	男性	50歳代	抗体の検出
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	男性	40歳代	細菌の分離・同定 及び薬剤耐性の確認	百日咳	女性	10歳代	病原体遺伝子の検出
				百日咳	女性	60歳代	抗体の検出
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	男性	70歳代	病原体の分離・同定	風しん	男性	30歳代	病原体遺伝子の検出
				風しん	男性	50歳代	病原体遺伝子の検出
侵襲性肺炎球菌感染症	男性	60歳代	病原体の分離・同定等	風しん	男性	50歳代	血清IgM抗体の検出
百日咳	男性	10歳未満	病原体遺伝子の検出	風しん	女性	10歳代	病原体遺伝子の検出

・第50週は、結核3件(168)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(20)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(9)、侵襲性肺炎球菌感染症1件(24)、百日咳6件(218)、風しん4件(92)の報告があった。

※ ()内は2018年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第50週のコメント

＜A群溶血性レンサ球菌咽頭炎＞前週から若干減少し2.89となった。過去10年の同時期と比べると多め。

＜感染性胃腸炎＞前週から増加し11.33となった。過去10年の同時期と比べると少なめだが、若葉区で流行発生警報開始基準値を上回っている。

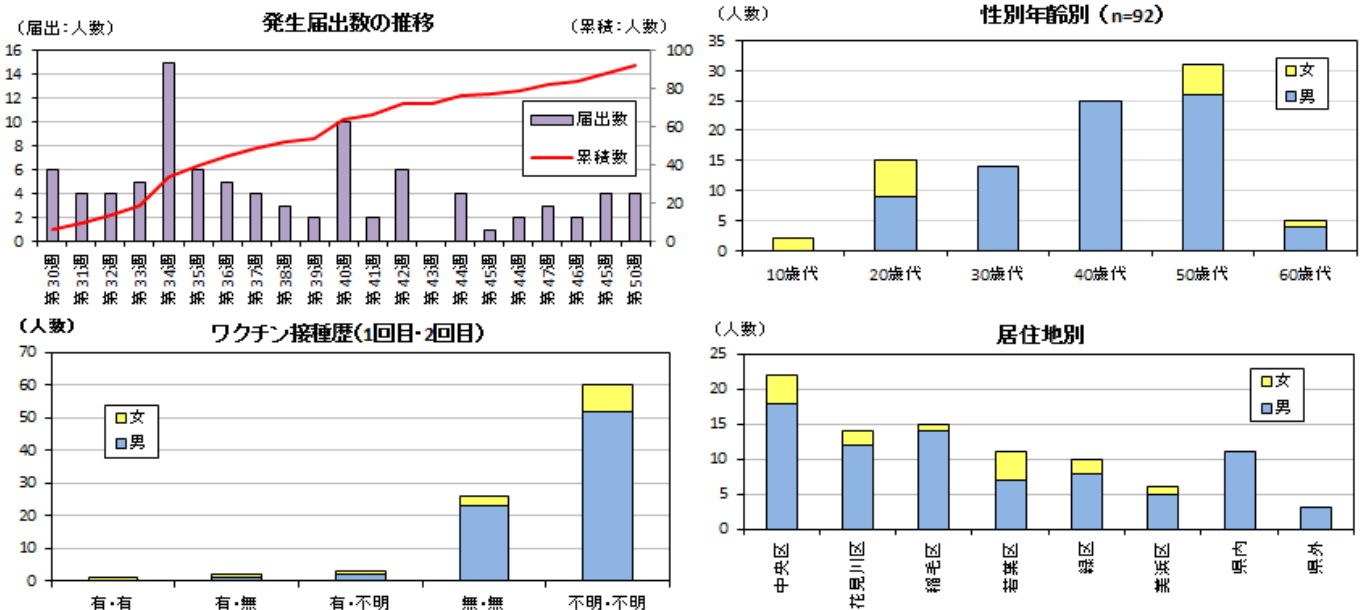
＜伝染性紅斑＞前週より減少し0.78となったが、過去10年の同時期と比べると最多のまま。

＜インフルエンザ＞前週より増加し5.43となった。過去10年の同時期と比べると少なめだが、中央区で流行発生注意報基準値を上回った。

■ トピック ■

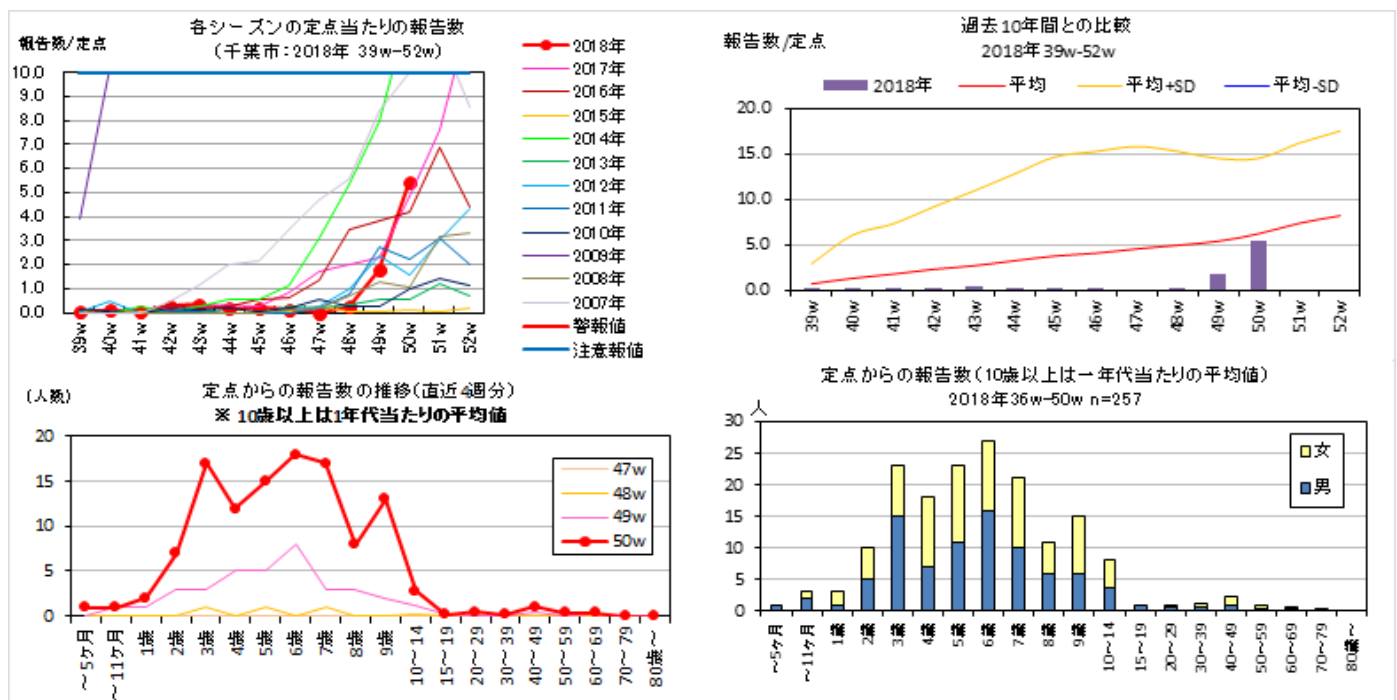
＜風しん＞

全国レベルの第49週の累積報告数は2586件で、昨年の同時期と比べると30倍を上回りました。都道府県別では東京都、神奈川県、千葉県の前で多く報告されており、関東地域で多く発生しています。千葉市の第50週は4件の発生報告があり、2018年の累計は92件となっています。性別は男性が84.8%（78名）、女性が15.2%（14名）で、年齢階級別は、50歳代（33.7%：31名）、40歳代（27.2%：25名）、20歳代（16.3%：15名）の順で多く、40歳代～50歳代の男性が中心となっています。居住地別では、中央区（23.9%：22名）、稲毛区（16.3%：15名）、花見川区（15.2%：14名）の順に多くなっています。患者におけるワクチン接種歴は、無し又は不明が9割を超えています。



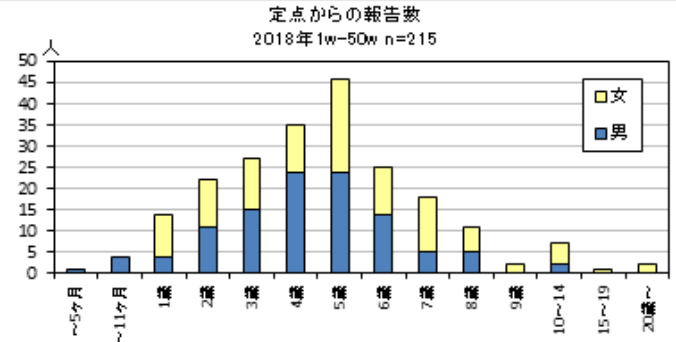
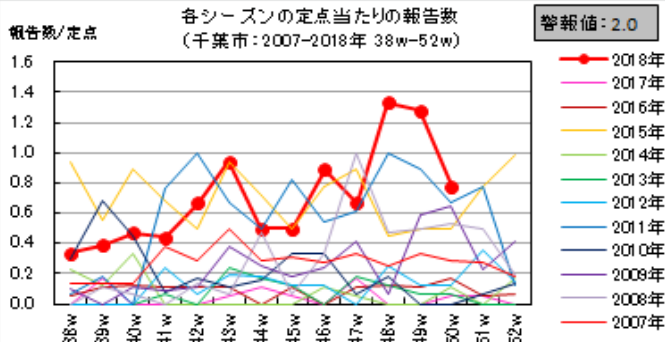
＜インフルエンザ＞

全国レベルの第49週は、過去10年の同時期と比べると少なくなっていますが、流行開始の目安とされている1.0を上回りました。都道府県別では香川県、北海道、愛知県の順で多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べると多くなっています。千葉市の第50週は定点医療機関からの発生患者報告数が前週より3倍以上となり、定点当たりの報告数は5.43となりました。過去10年の同時期と比べると少なめとなっています。区別の発生状況は中央区（16.2/定点）で流行発生注意報基準値（10.0/定点）を上回り最多で、同区の3歳で最も多く発生報告がありました。今シーズンである2018年第36週から第50週の累積報告数は257件で、性別では男性が49.8%（128名）、女性が50.2%（129名）で、年齢階級別では6歳（10.5%：27名）、3歳及び4歳（共に8.9%：23名）の順で多くっており、20歳未満は全体の77.4%、10歳未満は全体の60.3%となっています。



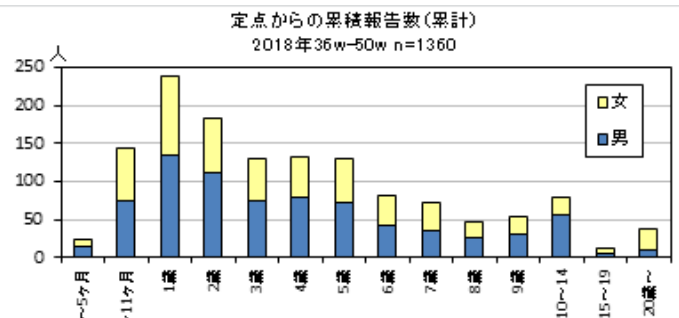
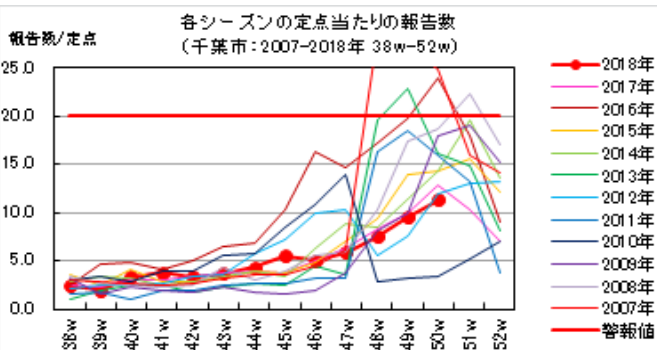
<伝染性紅斑>

全国レベルの第49週は、過去10年の同時期と比べると最多のままとなっています。都道府県別では宮城県、東京都、神奈川県の前で多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べるとやや多めとなっています。千葉市の第50週は前週より減少し0.78となりましたが、過去10年の同時期と比べると最多のままとなっています。区別の発生状況は稲毛区(1.67/定点)で最多で、同区の5歳で最も多く発生報告がありました。2018年第1週から第50週の累積報告数は215件で、性別では男性が50.7%(109名)、女性が49.3%(106名)で、年齢階級別では5歳(21.4%:46名)、4歳(16.3%:35名)、3歳(12.6%:27名)の順で多くなっています。



<感染性胃腸炎>

全国レベルの第49週は、過去10年の同時期と比べると少なめとなっています。都道府県別では、大分県、福井県、宮崎県の順で多く報告されています。千葉県は全国レベルとやや少なめとなっています。千葉市の第50週は前週から増加し11.33となりました。過去10年の同時期と比べると少なめとなっていますが、区別の発生状況は若葉区(26.5/定点)で流行発生警戒開始基準値(20.0/定点)を上回り最多で、同区の1歳で最も多く発生報告がありました。今シーズンである2018年第36週から第50週の累積報告数は1360件で、性別では男性が56.8%(772名)、女性が43.2%(588名)で、年齢階級別では1歳(17.5%:238名)、2歳(13.5%:184名)、6~11か月(10.6%:144名)の順で多くなっています。



<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

全国レベルの第49週は、過去10年の同時期と比べると多くなっています。都道府県別では、北海道、新潟県、埼玉県の順で多く報告されています。千葉県は全国レベルとほぼ同等となっています。千葉市の第50週は前週から若干減少し2.89となりましたが、過去10年の同時期と比べると多めとなっています。区別の発生状況は緑区(5.75/定点)で最多で、同区の4歳、5歳及び6歳で比較的多く発生報告がありました。今シーズンである2018年第36週から第50週の累積報告数は522件で、性別では男性が55.0%(287名)、女性が45.0%(235名)で、年齢階級別では4歳(17.2%:90名)、6歳(14.4%:75名)、5歳(13.8%:72名)の順で多くなっています。

